

研究機関：広島大学

研究課題名	CT を活用した法医学診断の補助ツール開発に関する研究
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科法医学 教授 長尾 正崇
研究期間	許可日 ~ 2025年 3月 31日
対象者	2017年4月から2024年3月の間に、死因究明教育研究センターでCTを撮影された症例および、許可日から2024年3月の間に、広島大学病院で頸部から頭頂部にかけてのCTを撮影された患者さん。
意義・目的	CTを活用した診断補助ツールは臨床分野で盛んに開発されていますが、法医学分野では未だ発展途上です。死因究明教育研究センターのCTデータベースに加え、大学病院のCTデータを用い、損傷・顔貌・年齢等法医学診断にとって重要となる情報を推定できるツールの開発を目指します。
方法	本研究は、死因究明教育研究センターのデータ利用については解剖によって得られたデータとCT画像を調査して行います。解剖によって得られたデータから使用する内容は身長、体重、性別です。また、大学病院のデータ利用については診療録（カルテ）情報とCT画像を調査して行います。カルテから使用する内容は身長、体重、性別です。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医系科学研究科法医学 教授 長尾 正崇
個人情報の保護について	解剖・CT、診療録から得られたデータから、氏名、生年月日、カルテ番号などの個人を識別可能な情報を削除し、CT画像と個人情報の紐付けを行った後、個人情報とは無関係の番号を付け、匿名化を行います。個人識別情報と付加番号の対応表は個人情報管理者が厳重に管理し、解析担当者には渡しません。データ解析の際には、匿名化後のデータのみを扱うため、個人を特定できる情報は含みません。研究の成果を学会あるいは誌上に公表する際にも、個人を特定できる形では公表しません。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5174 広島大学大学院医系科学研究科法医学研究室 大学院生 中尾 直己 広島大学大学院医系科学研究科法医学 教授 長尾 正崇